

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	10-7	
PDCA	主要事業名	防災広場整備事業	部課名	総務部防災安全課	担当 内線	岩田 285	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 6 年度 全体事業費等： 619,523 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.53					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 大規模地震が発生した場合、被災初期には傷病者搬送用ヘリポート、中期には自衛隊等の宿营地、後期には被災者用の仮設住宅建築場所として、また、一角にはトラックが横付けできる大型防災倉庫を備えるなど、幅広く活用できる防災広場を建設する。 事業目的： 災害時医療拠点となる新病院、物資集積拠点となる知多南部総合卸売市場と合わせて一体的な防災拠点が整備でき、市の災害対応力が強化できる。 事業内容： 用地を取得し、敷地の造成整備に向けて実施設計を進める。 問題点・課題等： 現在の備蓄倉庫では、コロナ禍を受けた備蓄品の増加による容量不足、大型貨物車両を横付けできない搬出入環境が課題となる。					
	予算額	主要事業とする理由					
	185,021 千円	災害に強いまちづくりを推進する上での主幹事業であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 15,640 千円	災害時医療拠点・受援物資集積拠点と一体的な防災拠点が整備されることで、市の災害対応力が強化される。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
	県費 0 千円	用地取得及び造成実施設計の実施					
	その他 169,381 千円						
	D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果				
184,814 千円		用地取得に向けて愛知県より事業認定を受け、土地の収用を完了。令和5年度工事実施に向けて、土地の造成実施設計を行った。					
		成果指標 用地取得及び造成実施設計の実施					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 事業計画に基づき、用地を取得し、造成工事の実施設計を完了した。供用開始に向けて、国、県等関係機関に対する手続きや届出が多いため、漏れや遅滞がないよう注意する。					
	今後の事業の方向性	拡充推進 令和5年度に土地の造成工事と倉庫の建築設計を実施。 令和6年度にヘリポートと倉庫の建築工事を実施。供用開始に向けて平時、有時も利便性が高く、効率的で扱いやすい施設をつくる。					
A 課題解決の方向性	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
					評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用		